

神奈川県農業技術センター

かながわ農業を支える 技術開発と普及



マリアージュ



ナシの樹体ジョイント仕立て



湘南ゴールド



サラダ紫



光触媒を用いた養液栽培



普及指導活動

Kanagawa Agricultural Technology Center

神奈川県農業技術センターは

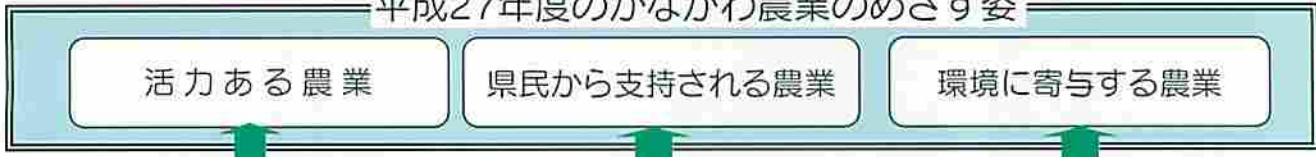
研究開発と普及との連携により、産業として自立し、都市と共存する「かながわ農業」の実現をめざしています



基本目標
 県民の豊かな生活を支える都市農業をめざして

かながわ農業活性化指針

平成27年度のかながわ農業のめざす姿



<重点的に取り組む施策>

- | | | |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 地産地消による農業の振興 ● 多様な担い手の育成と確保 ● 農業生産基盤の確保と整備 ● 農業経営の安定化の推進 ● 農業技術の開発と普及 | <ul style="list-style-type: none"> ● 安全で安心な農畜産物の提供 ● 食と農の理解の促進 ● 地域の農業を生かした都市との交流 | <ul style="list-style-type: none"> ● 資源の有効活用による農業の振興 ● 環境に調和する農業の振興 |
|---|--|---|

研究推進構想

<研究開発の目標>

- | | | |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 地産地消のための経営手法・販売方式の開発 ● かながわ特産品の開発 ● 生産性向上及び省力化・軽作業化技術の開発 | <ul style="list-style-type: none"> ● 農業情報の収集・処理・提供技術の開発 ● 高品質・高機能性作物生産のための技術開発 ● 安全・安心な農作物生産技術の開発 | <ul style="list-style-type: none"> ● 環境と調和する農業技術の開発 ● 生産環境管理技術の開発 |
|--|--|---|

組織

農業技術センター（本所）

- ・管理課 (センターの管理運営)
- ・企画調整部 (研究・普及の総合的な企画調整)
- ・経営情報研究部 (農業経営・品質・情報・栽培システム等の研究)
- ・野菜作物研究部 (野菜・作物・生物学の研究)
- ・果樹花き研究部 (果樹・花き・観賞樹の研究)
- ・農業環境研究部 (病害虫総合防除・土壌・資源リサイクルシステム等の研究)
- ・普及指導部 (湘南・県央地区の農業の普及指導および作物の普及指導)
- ・病害虫防除部 (病害虫防除・安全な農薬利用の指導、推進)
- 横浜川崎地区事務所 (横浜・川崎地区の農業の普及指導)
- 三浦半島地区事務所 (三浦半島地区の農業の研究・普及指導)
- 足柄地区事務所 (かんぎつおよびツイルツの研究、茶と足柄地区の農業の普及指導)
- 北相地区事務所 (茶と北相地区の農業の研究・普及指導)
- 海老名出張所 (県央地区の農業の普及指導)

主要な開発品種

さといも「神農総研1号」

もも「照手姫」

たまねぎ「早生湘南レッド」

からしな「大山そだち」

なし「あけみず」

さるすべり「ディア ルージュ」

かんきつ類「湘南ゴールド」

ばら「湘南キャンディレッド」

スイートピー「リップルショコラ」

ねぎ「湘南一本」

ばら「マリアージュ」

キウイフルーツ「片浦イエロー」

ナス「サラダ紫」

品種登録 H 5. 3.17 第3460号

品種登録 H 5.10.13 第3701号

品種登録 H 9. 2.28 第5372号

品種登録 H 9. 3.19 第5554号

品種登録 H14.11.14 第10859号

品種登録 H15.11.18 第11469号

品種登録 H17. 1.19 第12643号

品種登録 H18. 2.27 第13791号

品種登録 H19. 8. 7 第15544号

品種登録出願 H17. 8. 2 第18603号

品種登録出願 H18. 7.24 第19980号

品種登録出願 H19.10.10 第21565号



ディアルーシュ



照手姫



マリアージュ



リップルショコラ



湘南キャンディレッド



あけみず



さがみグリーン



サラダ紫



湘南一本

沿革

明治29年(1896) 農事試験場創設 横浜市岡野町

明治41年(1908) 橘樹郡保土ヶ谷町へ移転

大正11年(1922) 鎌倉郡大船町岡本へ移転(現フラワーセンター大船植物園)

昭和28年(1953) 農業試験場と改称

昭和34年(1959) 平塚市寺田縄へ移転

昭和44年(1969) 農業総合研究所と改称

平成 7年(1995) 農業総合研究所、園芸試験場および畜産センターを統合 平塚市上吉沢に移転

平成17年(2005) 農業総合研究所、肥飼料検査所、6地域農業改良普及センターを統合

農業技術センター設置 平塚市上吉沢

平成19年(2007) 病害虫防除所を統合

公開施設

● 農林水産情報センター端末利用室

農家や県民の皆さんが必要とする農林水産業に関する情報の提供を行います。

また、高度で効率的な研究開発のための情報収集と、その共通利用を行っています。



● オープンラボラトリー

農産加工実験室

農家や県民の方が農産物の加工技術を習得するための支援、地域の特産品となる新製品の開発や試作を自主的に行うための開放実験室です。



● オープンラボラトリー

生物学実験室

農家や県民の方が自主的に品種の増殖や育種に取り組むための開放実験室です。



各部・各地区事務所の概要

企画調整部

農業技術センターの試験研究に関する総合的な企画・調整や、農業改良技術の普及活動に関する総合的な調整を行い、試験研究等との連携強化を図っています。

また、県農林水産試験研究機関相互の連絡・調整の他、研究および普及指導員人材育成のための各種研修の企画調整、試験研究に関する普及・啓発も行っていきます。



機関評価会議

経営情報研究部

「都市農業」を進めていくための経営管理や情報処理技術、農作業の省力化や軽労化技術、農産物の流通加工の研究開発を行っているほか、現状調査・分析に基づく政策提案や、新栽培方法・新品種の経済性、労働性、品質・機能性評価も行っていきます。

担い手の変化を予測する農業センサス分析、経営計画のもととなる経済性標準指標の策定、県内農産物をPRする「かながわ農の逸品」事業、簡易移植機の実用化、光触媒を利用したリサイクル型養液栽培技術の確立、当所育成品種の品質特性解明などの研究を行っています。



リサーチ 消費者ニーズの調査

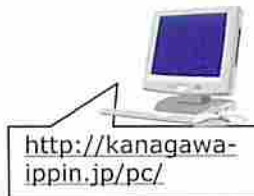


腰曲げを軽減できる
ダイコン台車

技術開発



メロン用非破壊糖度計
「甜揣」



<http://kanagawa-ippin.jp/pc/>



かながわ農産品のPRシステム



評価 経営分析ソフト「現実くん」

野菜作物研究部

かながわ特産品の創出を目指した野菜・作物の新品種育成や栽培技術の開発およびバイオテクノロジーを農業に利用するための研究を行っています。

やわらかくて食味がよく、収量性の高い根深ネギの新品種「湘南一本」やジューシーで生食に向く新食感ナス「サラダ紫」、生食にも調理にも向くイタリアンタイプのトマト「SPLシリーズ」などの育成や水稲の奨励品種の選定、トマトの低段密植栽培や野菜類の作期拡大など栽培技術の開発に取り組んでいます。また、バイオテクノロジーを農業に応用するため、園芸作物における遺伝子診断技術の開発などの研究を行っています。



トマト育成系統
「SPLシリーズ」



のらぼう菜の収穫調査



水稲奨励品種「さとじまん」
(独)農業・食品産業総合研究機構
作物研究所育成品種



DNAマーカーによる
品種識別技術の開発



サツマイモ ウイルス
フリー苗の増殖

果樹花き研究部

かながわ農業の活性化を図るため、消費者の好みにあった落葉果樹、花き、観賞樹の新品種の育成や品種の特定検定、新しい栽培技術などの試験・研究を行っています。

果樹では「樹体ジョイント仕立て法（特許申請中）」による超早期成園化・省力化に関する試験（共同研究）、ナシ園のドリフト軽減技術に関する試験や果樹の高品質安定栽培技術の研究を行っています。花きでは、紫ピンクの花色のバラ「マリアージュ」や吹きかけ模様のスイートピー「リップルシリーズ」、細長い葉に美しい斑(ふ)が入ったアオキ「湘南おりひめ」などの品種育成やシクラメンの鉢上げ法や切り花向き宿根草の栽培技術の研究、カーネーションの多年切り栽培技術の研究などに取り組んでいます。



ナシの樹体ジョイント仕立て



マット植物による屋上緑化



カーネーションの
長期継続栽培



ナシ園防除における漂流飛散
(ドリフト) 低減対策試験



カキの平棚栽培



アオキ「湘南おりひめ」
品種登録H20. 2.22 第16133号

農業環境研究部

農薬や化学肥料をできるだけ使わない環境にやさしい病害虫防除技術、土壌管理・施肥技術確立のための研究開発に取り組んでいます。

トマト黄化葉巻病等の難防除病害虫の対策技術の開発、天敵等を利用した病害虫防除技術の開発や食品残さ等を利用した堆肥の製造利用技術および品質評価法の開発、硝酸態窒素溶脱を少なくする施肥技術の開発などに取り組んでいます。

また、病害虫や生理障害の診断同定、発生予察、新農薬の効果試験、農耕地土壌の定期的な調査、有機物連用試験、肥料検査業務などを行っています。



病害の診断同定
(右上)アスパラガス立枯病菌
(*Fusarium oxysporum*)



天敵と天敵温存植物を
利用したイチゴ栽培
(右上)ナミハダニを吸汁する
ミヤコカブリダニ



トマト黄化葉巻病
(右下)ウィルスを媒介する
タバココナジラミ



パーカッション採土器での
深層土壌の硝酸態窒素
含有量調査



レーザー光による
堆肥成分分析装置

普及指導部

湘南・県央地域および県下の作物の農業者に生産技術や経営改善のための活動・支援を行っています。湘南・県央地域は、都市農業の縮図的な地域で、多彩で多様な産地です。施設園芸を基幹とした生産性の高い農業と露地栽培や水稲、果樹、花き・観賞樹などと組み合わせた複合的で継続的な経営と多様な品目が生産されています。

本県の主要産地として市場出荷を中心に、都市近郊地域の利点を活かした直売（直販）も多く行われています。

- 新規就農者の経営確立支援と青年農業者の組織活動支援
- 大型直売所の活性化による地産地消の促進
- 優良品種の導入や高品質生産安定栽培技術の普及促進
- 新病害や難防除病害虫の総合的な対策技術の普及
- 農産加工など農産物の高付加価値化による経営改善支援
- 減農薬・減化学肥料栽培技術による環境保全型農業の推進



イチゴ苗巡回検討会



シクラメンの生育状況巡回調査

病虫害防除部

安全で安心な農産物が安定的に生産できるよう、県内病虫害の調査および発生予察情報の提供や、市町村や各種団体と協力した病虫害防除への取組、農薬耐性菌や抵抗性害虫の検定、病虫害の診断と処方箋の発行、農薬取締法に基づいた業務等を行っています。



予察灯による
害虫発生量調査



防除指針



農薬耐性菌の検定



アジサイ葉化病



ヤシオオオサゾウムシ
新発生病害虫

横浜川崎地区事務所

横浜市、川崎市の農業者を対象に、生産技術や経営改善のための活動・支援を行っています。当地域は首都圏の一角を形成しており、新鮮な農産物を供給する都市農業地帯です。野菜はコマツナ等の軟弱野菜やキャベツ、トマトなど多品目が、果樹はナシ、ブドウなどの落葉果樹、花きはシクラメン、パンジーなどの鉢物や観賞樹木などの生産が行われています。また、農産加工による起業を希望する女性農業者、新規学卒者やUターンなど、多様な農業の担い手が多い地域です。

- キャベツ、コマツナなど生鮮野菜の産地育成
- 直売向け新品目の導入支援などによる地産地消の推進
- ナシの産地育成やシクラメン、パンジー等の高品質安定生産技術の普及
- 花ももブルーイング抑制技術の開発と普及
- 減農薬・減化学肥料栽培技術による環境保全型農業の推進
- 起業活動による経営改善支援と多様な担い手の育成支援



農業セミナー



ランドマークタワーを臨む
農業専用地区

三浦半島地区事務所

研究課

普及指導課

三浦半島におけるダイコン、キャベツ、カボチャなど露地野菜の高品質安定生産技術を研究しています。産地の維持発展のため優良品種の選定、減農薬・減化学肥料、機械化・省力化栽培技術等の試験研究を行っています。

横須賀市、逗子市、三浦市、葉山町の3市1町の農業者を対象に生産技術や経営改善のための活動・支援を行っています。また、新規就農者や女性農業者など多様な農業の担い手の育成・支援を行い、地域農業の活性化のための総合的な支援に取り組んでいます。

- マリーゴールドによる線虫防除技術の確立
- 4、5月どり加工・業務用キャベツの作型開発
- ウリ科野菜ホモブシス根腐病の防除技術の確立
- カボチャにおけるマルチ麦の利用法

- ダイコンの優良品種の選定・普及
- おとり作物による根こぶ病対策普及
- 農業の安全な使用方法の普及
- 三浦半島ふるさとの味展の開催支援



ダイコン収穫調査



業務用キャベツの調査



ダイコン品種検討会



青少年プロジェクト活動

足柄地区事務所

研究課

普及指導課

県西部を中心に栽培されているカンキツ、キウイフルーツ等の果樹を対象とした研究を行っています。当地域は温暖でカンキツの栽培に適していますが、傾斜地も多く、輸入果物等との競合もあり多くの問題があります。これらの問題解決と産地発展のため、優良品種の選定、生産性向上、省力化栽培技術や減農薬防除技術等の試験研究を行っています。

小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町の2市8町および県下の茶の農業者を対象に、生産技術や経営改善のための活動・支援を行っています。また、地産地消の推進、多様な農業の担い手の育成支援や環境保全型農業の推進などに取り組み、地域農業の活性化のため、総合的な支援を行っています。

- 晩柑品種「湘南ゴールド」の育成
- キウイフルーツの有望新品種の育成
- Y字仕立によるミカンの低樹高・省力栽培法の確立
- カンキツのマルチ被覆法による高品質化

- 県下の新規茶産地作りの推進
- 優良中晩柑（不知火、はるみ、湘南ゴールド）の普及
- ミカン・イチゴ・キウイ・ウメの高品質栽培技術の普及
- 環境保全型栽培技術の導入（茶、露地野菜）



キウイフルーツ「片浦イエロー」
品種登録 H20.3.13第16475号



湘南ゴールド



開成町での一番茶摘採



カンキツの栽培講習会

北相地区事務所

研究課

普及指導課

足柄茶、北相地区を対象とした野菜・山菜等の高品質安定生産技術を研究しています。足柄茶については、環境に配慮した減農薬・減化学肥料栽培等の試験研究を行っています。また、中山間地域に適した野菜、山菜等の栽培技術の開発等を行っています。

相模原市の農業者を対象に生産技術や経営の改善のための活動・支援を行っています。また、新規就農者や女性農業者など多様な農業の担い手の育成・支援を行い、地域農業活性化のための総合的な支援に取り組んでいます。

- 茶の減農薬・減化学肥料栽培等環境保全型農業技術の開発
- 地域に適した特産品（山菜等）の開発
- 「ギャバ金太郎茶」の簡易製造法
- シネンジョの優良系統の選定と増殖法の開発

- ヤマトイモ・寒締め柿のりなど特産品の栽培支援
- FIFON剤・生物農薬の利用推進の普及
- 農薬安全使用法の普及、消費者へ地域産物の紹介



北相地区事務所茶ほ場



アスパラガスの栽培



寒締め柿のり展示圃



相模原特産ヤマトイモ

連絡先

神奈川県農業技術センター（本所）

〒259-1204 神奈川県平塚市上吉沢1617 電話 0463-58-0333（代）
FAX 0463-58-4254

<http://www.agri.pref.kanagawa.jp/nosoken/nosoken.asp>

横浜川崎地区事務所 〒226-0015 横浜市緑区三保町2076（横浜農業合同庁舎内）
電話 045-934-2374 FAX 045-934-2377

三浦半島地区事務所 〒238-0111 三浦市初声町下宮田3002
電話（研究課）046-888-3385（普及指導課）046-888-3324
FAX 046-888-1509

足柄地区事務所（普及指導課）
〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島2489-2（足柄上合同庁舎内）
電話 0465-83-5111（代）FAX 0465-83-7214

根府川分室（研究課）
〒250-0024 小田原市根府川574-1
電話 0465-29-0506 FAX 0465-29-0019

北相地区事務所 〒229-0106 相模原市相模湖町寸沢嵐620-2
電話 042-685-0203 FAX 042-685-2224

海老名出張所 〒243-0414 海老名市杉久保200 6（かながわ農業アカデミー内）
電話 046-238-1615
FAX 046-238-9720（かながわ農業アカデミー共通）

施設概要

本所 / 土地 191,821㎡・建物22,346㎡（85棟）

横浜川崎地区事務所 / 建物（専有面積 230㎡）

三浦半島地区事務所 / 土地 27,997㎡・建物 1,953㎡（15棟）

足柄地区事務所 / 建物（専有面積 313.8㎡）
（研究課） / 土地 32,056㎡・建物 1,727㎡（15棟）

北相地区事務所 / 土地 34,836㎡・建物 1,057㎡（11棟）



本所への交通案内

- JR平塚駅 → 吉浜
北口バス乗り場（神奈中バス）
・神奈川大学行（37・38系統）
・中沢橋経由秦野駅行（76系統）
吉浜下車徒歩4分
- JR小田急秦野駅 → 吉浜
北口バス乗り場（神奈中バス）
・神奈川大学行（38・39系統）
終点で平塚駅行に乗り換え吉浜下車
南口バス乗り場（神奈中バス）
・中沢橋経由平塚駅行（76系統）
吉浜下車徒歩4分
- お車利用
小田原厚木道路
平塚ICより約20分
東名高速道路
秦野中井ICより約30分

このパンフレットは再生紙を使用しています